

VI みどりのまち親愛(令和5年度事業計画/事業報告)

1. 令和5年度経営方針

利用率の向上と職員の適正配置を進め安定した経営を目指すとともに、新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止に留意し取り組みを行う。また、地域の感染状況に応じ、利用者の余暇活動の幅を広げ、利用者支援の充実を図る。

(1) 利用者支援

- ア 職員が定期的にユニットを異動することにより、非常時のユニット間の応援体制を整える。また、食事・おやつを現状に則した提供方法に改善・効率化を図る。
- イ ユニットケアが目指す「一人ひとりの自分らしい暮らし」に向けた支援を踏まえつつ、状態から必要とする介護が適切に行えるよう環境や取り組み内容を見直していく。引き続き「24H シート」の活用を通してユニット内の情報共有を進める。
- ウ 利用者の健康管理に努め、看取りの取り組みに向けて準備を進める一方、医療施設(療養型)との協力体制の構築も進めていく。

(2) 職員の人材育成

今年度もオンライン研修を継続し、職員の育成に取り組む。加えて、嘱託医、協力病院と調整し、看取りの取り組みに向けた職員研修を実施する。

(3) ICT化の推進

一定年数を経過した機器の修理、部品の確保を行うとともに、ICT化に向け準備を進める。

(4) 福祉サービスの内容

- ア 介護老人福祉施設 入所する要介護者に対し、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う。
- イ 地域密着型通所介護 利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う。
- ウ 短期入所生活介護 利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、利用者に短期間入所してもらい、入浴、排泄、食事などの介護や日常生活上の世話を行う。

2. 令和5年度取り組み

(1) 利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	実績等
ア おやつの見直し	利用者の状態の変化に応じ、適切な形態のおやつを食事委託業者より提供する。また、飲み物についても施設から提供する。(選択制)	4月におやつ保管用冷凍庫を購入した。 5月より希望者に対し、おやつを提供を開始し、60名ほどの入居者と短期入所者が利用している。 器具取得支出 759千円
イ 食事(副菜)提供方法の見直し	副菜をあらかじめ小分けにして提供し、主菜のみユニット内で盛り付ける。	ユニット内での副菜の盛り付けが不要となり、食事提供がスムーズに行えるようになった。 業務委託費(ニフス) 31,075千円
ウ 虐待防止・権利擁護	(ア) 虐待防止・権利擁護に関する研修の受講、内部研修を実施し、職員一人ひとりの意識の向上を図ると	(ア)年間2回の研修を実施した。 7月に動画視聴による研修を実施 12月に施設内集合研修として実施

	ともに、支援の質を高める。 (イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。	(イ) 4月の新任職員研修内で実施。中途採用者には採用時に動画視聴による研修を実施した。
エ デイサービスセンター定員の増員	デイサービスの定員数を15名から18名に増員し稼働率の安定化を図る。	令和5年4月より定員18名とした。

(2) 人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	実績等
ア 外部研修・内部研修	一部オンラインによる研修を導入する。 (ア) キャリアパス制度に則し、職務に応じた研修受講を進める。(認知症基礎研修を含む) (イ) 内部研修については別に日程を設定し実施する。 (ウ) 看取り研修。 (エ) 喀痰吸引研修。	(ア) 新任、ベテラン、リーダーの階層と相談員、看護師等の職務ごとに動画視聴による研修を実施した。 (イ) 実技研修として内部研修を実施した。 (ウ) 看取り準備委員を対象に実施 11月介護施設における看取りケア研修 (埼玉県) 3月嘱託医療機関による看取り研修 (ひかりクリニック) (エ) 受講者無し。
イ 資格取得についての取り組み	介護福祉士資格取得を推進するため、実務者研修受講者に対し、介護人材確保促進事業等の補助金の活用により、受講料の補助を行う。	介護人材確保促進事業の活用は無かったが、職員2名が介護福祉士資格を取得した。

(3) 施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	実績等
ア 建物、設備の修繕・更新	経年劣化等により修理が必要な建物、設備等の修繕、更新を行う。	・2月浴室内手すりの工事実施 ・9月誘導灯バッテリー電池交換実施 ・その他修繕として、非常用発電機部品交換、受水槽外面塗装工事、給湯機交換を行った。 修繕費 3,882千円 ・事故防止に向け、ユニット共有部に防犯カメラを設置した。 器具取得支出 976千円
イ ICT化の推進	ナースコール、PHSは製造中止のため、修理及び予備部品の購入を進めるとともに、ICTの活用による介護の質、職員の負担軽減に繋がる、情報通信機器等設備の導入を検討する。	・ナースコール予備部品、PHS電池パック等の購入を行った。 ・令和6年度の勤怠管理ソフトの導入に向け、準備、試行を行った。

(4) 危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	実績等
ア 消防計画に基づく避難訓練の実施	年2回の避難訓練を実施し、1回は夜間想定訓練とし、1回は消防署の立会い訓練とする。	消防計画に基づき2回の訓練を実施した。 第1回:7月6日(日中想定)消防署立会い 第2回:2月2日(夜間想定)
イ 防災対策	(ア) 業務継続計画の策定。 (イ) 地域との連携。	(ア) 12月に業務継続計画を策定。各部署に配布し周知を図った。 (イ) 自治会との会議は今年度も中止となった。
ウ 感染症対策	感染症BCPに基づく委員会開催、研修・訓練の実施。	感染症委員会を通してBCPの周知を図った。 令和5年度研修計画に沿って実技研修・訓練を実施した。 新型コロナ陽性者発生時にはBCPに基づき対応した。
エ 安全運転管理	(ア) 車両点検、運行表の記入、安全運転を励行。 (イ) 運転者の酒気帯びの有無の確認の徹底。	(ア) (イ) 車両運転者には車両点検、運行表記入、検知器による酒気帯び有無の確認を行った。デイサービス送迎車の運転手3名は、教習所の安全運転講習を受講した。

(5) その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績等
ア 人材確保	年間を通し人材確保のための方策を講じる。(説明会への参加、養成校での案内、求人広告、ネット求人、職員による紹介、派遣職員の利用等)	・介護職員養成校での動画による事業所説明会に参加した。 ・介護の魅力PR隊に職員を派遣し、介護に関する説明会に出席した。
イ 園庭整備	シルバー人材センターの活用。	シルバー人材センターと請負契約を行い、担当者1名が週3日来所。園庭の植栽の整備を行った。 業務委託費 630千円
ウ 地域社会との共生	(ア) 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 (イ) 実習生、ボランティアを受け入れることで、介護事業への理解を深めてもらうとともに、後進の育成に努める。	(ア) デイサービスの活動において、音楽や舞踊のボランティアの受け入れを行った。 (イ) 介護職員養成校3校より5名の実習生を受け入れた。そのうちの1校より2名の実習生が就職に繋がった。
エ 産業医の変更	新規産業医(ひかりクリニック)を選任し、医師との連携のもと、職員の健康管理や良好な職場環境の創出を図る。	4月ひかりクリニックと産業医契約を締結。定期的に労働安全衛生に関する助言、指導を受けた。 業務委託費 396千円

■ みどりのまち親愛（令和5年度事業報告 資料）

令和6年3月31日現在

1 利用者状況

(1) 要介護度(名)

要介護度			
	男	女	計
5	1	17	18
4	10	26	36
3	7	26	33
合計	18	69	87

平均介護度=3.9

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	65歳以上～70歳未満	70歳以上～75歳未満	75歳以上～80歳未満	80歳以上～85歳未満	85歳以上～90歳未満	90歳以上	平均(歳)
		(特養)	男	0	2	3	5	3
	女	0	3	6	11	22	27	87.7
	計	0	5	9	16	25	32	87.1

(3) 通院・入院状況(名)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
	通院者		28	47	6	6	0	7	51	0	6	80

その他の内訳 脳神経外科 15 形成外科 18 神経内科 8 泌尿器科 15 救急 14 その他 10

ア 往診の状況

	ひかりクリニック	健友会(歯科)	つばさ診療所(眼科)	その他
受診者	1,302	1,298	18	5

イ 入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入院者数	3	2	2	3	3	5	6	8	2	3	5	3	45	3.75
延入院日数	82	60	39	88	118	61	112	133	23	55	76	86	933	77.75

※入院者数は昨年より24名減り、延べ入院日数は154日減少した。

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

【特別養護老人ホーム】 定員 90 名

月	入居者数	退居者数	月末在籍者数	延べ利用 人数	稼働率(%)
4月	1	3	88	2,598	96.3
5月	2	0	90	2,694	96.6
6月	0	3	87	2,621	97.1
7月	3	2	88	2,656	95.3
8月	2	1	89	2,634	94.4
9月	1	3	87	2,573	95.3
10月	2	2	87	2,592	93.0
11月	2	5	84	2,431	90.1
12月	3	0	87	2,628	94.2
1月	2	2	87	2,645	94.9
2月	1	1	87	2,448	93.9
3月	1	1	87	2,628	94.2
合計	20	23		31,148	
平均			87.33		94.6

※昨年度より延べ利用者が 83 名増加し、稼働率はほぼ同じであった。

【短期入所生活介護事業】 定員 10 名

月	要支援・要介護度							延べ 利用人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	0	0	27	58	75	91	10	261	87.0
5月	0	0	28	51	78	99	5	261	84.2
6月	0	0	33	38	76	91	5	243	81.0
7月	0	0	23	38	111	89	5	266	85.8
8月	0	3	24	40	132	66	8	273	88.1
9月	0	0	20	41	105	45	6	217	72.3
10月	0	0	16	33	137	29	3	218	70.3
11月	0	11	23	25	106	48	2	215	71.7
12月	0	0	55	24	61	51	33	224	72.3
1月	0	5	24	31	89	66	44	259	83.5
2月	0	0	7	19	72	41	32	171	59.0
3月	0	0	18	39	62	89	35	243	78.4
合計	0	19	298	437	1,104	805	188	2,851	
平均									77.9

※昨年度より延べ利用者数が 300 名減少し、稼働率が 8.6%下がった。

【地域密着型通所介護事業】 定員 18名

月	事業対象	要支援・要介護度							障	延べ利用人数	稼働率(%)
		支1	支2	1	2	3	4	5			
4月	3	5	0	109	60	61	11	23	8	280	62.6
5月	5	4	0	116	81	72	9	26	5	318	65.4
6月	3	3	0	94	88	85	7	23	0	303	64.7
7月	4	5	0	102	94	82	4	24	8	323	69.0
8月	4	3	0	99	93	81	6	21	5	312	64.2
9月	3	5	0	88	95	78	10	13	6	298	63.7
10月	4	3	0	105	96	83	8	10	6	315	67.3
11月	4	4	0	103	84	75	9	14	8	301	64.3
12月	4	4	0	90	79	84	9	8	5	289	61.8
1月	3	3	0	87	76	72	8	3	4	256	59.3
2月	4	2	0	99	87	57	9	0	9	267	59.3
3月	3	5	0	109	89	48	17	0	2	273	58.3
合計	44	46	0	1,207	1,022	878	107	165	66	3,535	
平均											63.4

※定員を15名から18名に増やした。延べ利用者数は昨年度より136名増加した。

年間稼働日数 310日

平均利用者数 11.4名/日 (昨年度 10.9名/日)

(2) ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	78	その他(傾聴)	0
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除・洗濯等)	0	合計	13

(3) 実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	3	5	99
研修生	0	0	0

※新型コロナウイルス感染状況を見ながら、ボランティア及び学生の実習を受け入れた。